

2022年 未来のために、行動する年に



秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

新春市長コラム

日々「心」



明けましておめでとうございます。今年の新年号は、昭和26年7月15日の「広報あきた」創刊以来、記念すべき2000号となりました。

創刊後、最初の新年を迎えた昭和27年、辰年の新年号を紐解くと、当時の武埴祐吉市長は、「年の暮れと、年の始めの差は時間的には、一秒時にすぎないが、気構えに於ては、天にのぼる龍の意気と、地にもぐるモグラの相違がある。きのうまで、体力的にも精神的にも、縮んでいたものまでが、年の始めには『今年こそは』と、希望に燃え胸にこみ上げる昂奮である」と、新たな年に臨む意気込みを記しています。

「龍虎の戦い」というように、勢いの盛んなものとして龍と並び称される虎。活力に満ち、行動力があるさまは、一日に千里の道を進み、千里の道を帰るといわれます。寅年の今年、6代前の市長である大先輩の言葉にも刺激を受け、未来のために、力強く、行動する年にしたいと、私なりに決意を新たにしています。

みなさまにとって、明るく、希望にあふれる一年になることを心からお祈り申し上げます。



キッチンカーのある風景

昨年、市役所前の市民の広場に移動販売車、いわゆるキッチンカーが登場しました。コロナ禍の逆境を乗り越えようとする飲食店のかたがたを、少しでも後押ししたいという思いと、市の新たな財源確保の方策として広場の一面を貸し出す試みで、6月から8月まで試験的に行った取り組みが好評だったため、改めて出店者を募り9月から11月にも実施したものです。



ホットドッグにラムサンド、牛タン焼き、カレー、ナポリタン、ピザ、メロンパンなど、日替わりで登場するメニューは多彩で、ここでは紹介しきれないほどです。おしゃれで個性的なキッチンカーは眺めているだけでも楽しい気分になりました。

よく晴れた日、仲良く手をつないだ親子が何やら相談しながら注文する微笑ましい光景。山王周辺で働く人たちが遊歩道のベンチで昼休みを過ごす姿。冷たい雨の日、雨宿りのため、ちょっと離れた市役所の屋根の下に、自然と注文の列を作るお客さん同士の気



■3月21日にオープンした文化創造館



■3月13日に行った泉外旭川駅開業記念式典

遣い。キッチンカーの「コマ」を通して、季節の変化とともに、人々の穏やかで何気ない日常の営みも感じられ、どんな天気の日も「良い天気だな」と思えてきます。

平成28年4月に行った新庁舎完成記念式典のあいさつの締めくくりに、私は、「この新庁舎のもとで、本市の新しい歴史のページがスタートします。市民が気軽に集い、語らう場となり、四季折々の庁舎の姿が新たな秋田市の風景の一つとして、市民のみなさまの心に刻まれていくことを祈念します」とお話したと記憶しています。当時思い描いた理想の庁舎の姿に、少しづつ近づいているように思えて、大変うれしく感じています。

「レトロニム」 〜再命名で見える役割



冒頭で紹介した武埴市長の話にある、旧年と新年を分ける「一秒時」。「チクタク」と一秒をかみしめるように進むステップ秒針というタイプの時計は、時を刻むイメージを形にしてくれます。対して、文字盤の上を秒針がスーッと進むタイプは連続秒針という一方で、こちらは、絶え間なくつながる時の流れを感じさせてくれます。

このアナログ時計。もとは単に時計と呼ばれていたものが、デジタル時計の登場によって、区別のためにアナログが付け足されました。このように、新語と区別するため、呼び名を付け直された言葉を「レトロニム」という

そうです。「和服⇄洋服」「フィルムカメラ⇄デジタルカメラ」「固定電話⇄携帯電話」「ガラケー⇄スマートフォン」「リアル店舗⇄オンラインショップ」なども同じで、国際化や技術革新が理由と分かります。これらの「レトロニム」、新しいものに取って代わられたという印象を持つてしまいがちですが、改めて考えてみると、それぞれの持つ個性や価値を見直されて、私たちの生活の中でしっかりと役割を果たしていると気づきます。

昨年の市長選挙では、公約に「デジタル市役所」の実現を掲げました。市民のみなさまの利便性向上と行政運営の効率化、コロナ禍などによる社会変容に対応していくために不可欠な取り組みです。押印廃止やデジタル化を進め、昨年10月からは住民票の写しや所得・課税証明書など、一部、申請から決済までオンラインで完結できるようになりました。

取り組みは始まったばかりですが、将来、市役所に足を運ばなくても各種手続きが可能となり、「デジタル市役所」が浸透したとき、今の市役所は「リアル市役所」と呼ばれることになるかも知れません。そのとき、「リアル市役所」が市民のみなさまにとってどんな存在でありたいか。どんな価値を生み、どんな役割を果たすべきか。そのことに思いを巡らすことは、デジタル化を進めるもう一つの大きな意義であり、私自身も含め、職員一人一人が心に留めるべきことと思っています。

(4ページへつづく)

*「レトロニム」(retroonym) = 「過去」を意味する「レトロ」(retro)「ニム」名称などを表す「onym」の合成語